

部 局 経 営 方 針

平成 2 2 年度

薩摩川内市

部局名	農林水産部	部局長名	切通 幸生
-----	-------	------	-------

部局内の 経営資源	当初予算	2 5 億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		5 0 人	1 0 人	6 0 人

①部局の使命 (組織の存在価値)	農林水産部の使命は、地域力を発揮し産業活力を創出するまちづくりを展開することである。 (1) 担い手の確保と重点 7 品目を中心とした産地づくりを推進する。 (2) 耕作放棄地の有効活用を行う。 (3) 畜産業の振興を強力に推進する。 (4) 農業生産基盤の整備を行う。 (5) 農村地域の特性を活かした住みよい生活環境を整備する。 (6) 自然環境に配慮した林道を整備し森林施業を推進する。 (7) つくり育てる漁業を推進する。 (8) 水産業担い手を育成確保する。 (9) 漁港及び漁場の整備を充実する。 (10) 農林水産物及び加工特産品のブランド化を推進する。	②組織目標像	【施策の目標像】 (1) 農林漁家の所得向上と経営安定化が図られており、後継者が育っている。 (2) 農林業基盤整備と農林業用施設の維持管理が充実されている。 【組織の目標像】 (1) 農家への技術指導体制の強化ができている。 (2) 農林漁家の目線に立った支援体制ができている。 (3) 要望に即応できる職員の体制ができている。
---------------------	---	--------	--

平成 2 2 年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

③重点事項	④具体的な成果目標 (めざそう値)	⑤具体的な取組内容	⑥進捗状況 (年度中間)	⑧年度末の達成状況
担い手の育成 【農政課】	(1)認定農業者 8 名の新規認定 講習会 2 回 戸別巡回指導 84 件(3・5 年目) 家族経営協定締結 3 件	①担い手育成総合支援事業の推進 ②経営能力向上講習会の実施 ③経営改善支援戸別巡回指導の実施 ④家族経営協定締結	○ ①認定農業者 新規 8 名・更新 29 名 担当者会 2 回, 幹事会 1 回, 協議会 1 回開催 △ ②経営簿記研修の実施 ○ ③戸別巡回指導実施中 ○ ④家族経営協定 1 件締結	○ ①認定農業者 新規 21 名・更新 52 名 担当者会 2 回, 幹事会 1 回 協議会 1 回開催 ○ ②経営簿記研修会 5 回 ○ ③戸別巡回指導 △ ④家族経営協定 1 件締結

部 局 経 営 方 針

平成22年度

薩摩川内市

	(2)新規就農者10名の育成 (うち農業公社研修生5名)	① 農業公社研修事業による支援 ② 新規就農支援金補助事業の実施 ③ 産地農業後継者支援事業の実施	○ ○ ○	①4月より6名の研修生が研修開始, 9月に4名が就 ②4月から9月は6名が実施10月から2名が継続実施している。 ③H21年就農者3名, H22年就農者1名が実施した。	○ ○ ○	①4月より6名の研修生が研修開始, 9月に4名が就 ②4月から9月は6名が実施10月から2名が継続実施している。 ③H21年就農者3名, H22年就農者1名が実施した。
	(3)集落営農組織を1団体設立 農用地利用改善団体を2団体設立	①かたろう集落営農組織育成事業の実施(市単事業)	○	①かたろう集落営農組織育成事業の推進 農用地利用改善団体1団体設立	○	①かたろう集落営農組織育成事業 7団体 農用地利用改善団体1団体設立
耕作放棄地再生の推進 【農政課】	(1)耕作放棄地の解消及び有効活用 12ha	①国の耕作放棄地再生事業とゴールド集落耕作放棄地解消事業(市単事業)の実施	○	①国耕作放棄地再生事業0.7ha ゴールド集落耕作放棄地解消事業 4.9ha	○	①国耕作放棄地再生事業3.3ha ゴールド集落耕作放棄地解消事業 4.7ha
	(2)解消試験栽培面積 0.4ha	①耕作放棄地解消試験栽培交付金事業の実施	△	①きんかんで試験栽培を調整中	○	①きんかん, にがうり, インゲンを栽培試験した。 0.2ha
	(3)中山間地域等直接支払交付金事業の実施活動 51集落協定848ha	①中山間地域等直接支払交付金事業の実施	○	①51集落協定 848ha	○	①51集落協定 848ha
新規, 重点品目の振興 【農政課】	(1)地域特性のある新品目の栽培試験1品目	①地域特性のある新品目栽培試験の実施(ドラゴンフルーツの栽培)	□	①試験栽培の実施が困難な状況となった。	×	生産者の都合により実施できなかった。
	(2)重点品目の産地拡大 きんかん0.4ha・ごぼう0.5ha	①国県市補助事業による産地拡大を図る。	□	①きんかんについては国庫事業を実施中(ごぼう中止)	○	①きんかん 0.4ha 産地拡大が図られた。
	(3)地域振興作物の出荷促進 3品目	①農産物産地消促進事業実施によるソラマメ, タマネギ, ジャガイモの出荷	○	①4月ソラマメを2,500Kg出荷した。	○	①ソラマメ2.5トン タマネギ5トン ジャガイモは4月出荷

部 局 経 営 方 針

平成22年度

薩摩川内市

農産物の販売促進 【農政課】	(1)1回	①らっきょう消費地会議	○	①4月に実施した。	○	①4月実施
	(2)5回	①茶販売促進活動	○	①11月、うがい用茶を配布	○	①11月実施
	(3)4回	①祁答院観光農園祭り	○	①8月、バスツアーを実施	○	①8月実施
	(4)5回	①さつま雪もち販売促進活動	△	①11～12月実施予定	○	①3月実施
	(5)1回	①きんかん消費地会議	△	①11月実施予定	○	①11月実施
	(6)1回	①ごぼう消費地会議	△	①11月実施予定	○	①11月実施
	(7)1回	①きんかん試食宣伝会	△	①1月実施予定	○	①1月実施
	(8)1回	①ゴーヤー消費地会議	○	①6月に実施した。	○	①6月実施
地産地消及び食農教育の推進 【農政課】	(1)産業祭での「地産地消・食農教育コーナー」設置 1回	①産業祭等イベントでの推進	○	①11月21日開催で調整中。	○	①産業祭で11月21日開催
	(2)先進地調査・関係者会議6回	①地産地消・食育計画の見直し	△	①9月にアンケート調査実施	□	①地産地消・食育計画の見直しは、H23年度に実施することで変更
特産品開発研究事業 【農政課】	(1)特産品コンクール入賞品6品 市長賞(第5回コンクール)1品	①特産品コンクールの実施 ②商談会への参加(福岡)	○ ○	①10月7日コンクール実施 7品が入賞 ②〇月参加調整中	○ ×	①10月7日コンクール実施 ②商談会への参加調整を行ったが不参加となった
	(2)本市特産農産物(重点7品目)の研究・開発	①市生活研究グループでの開発 ②研究業務委託	○ ○	①9月に2品目加工品の試作品を作成した。 ②4月研究業務委託した。	○ ○	①最終5品目を加工品とした ②4月研究業務委託
肉用牛繁殖 【畜産課】	(1)肉用牛繁殖牛の更新及び飼養頭数の増頭 優良雌牛の確保:123頭	①優良家畜保留導入助成事業の活用による優良雌牛の確保	○	①優良雌牛の導入実績 160頭(130.1%)	○	①優良雌牛の導入実績 217頭(176.4%)
	(2)若い種雄牛の試験種付けの実施 頭数80頭	②優秀種雄牛造成推進事業	△	②3頭の試験種付実施中 (5月～11月実施)	○	②試験種付実績 129頭(161.2%)
家畜伝染病の発生防止と環境保全の徹底 【畜産課】	(1)家畜伝染病発生ゼロ	①家畜防疫対策事業の徹底 ②畜産環境保全の徹底	○ ○	①伝染病防止の為消毒等の実施 ②家畜糞尿の適正処理	○ ○	伝染病発生件数0件 畜産環境保全意見書発行件数 5 件

部 局 経 営 方 針

平成22年度

薩摩川内市

酪農家の経営安定 【畜産課】	(1)乳用繁殖雌牛の更新及び経営の安定：36頭	①乳用雌牛保留導入支援事業補助金	○	乳用繁殖雌牛の導入実績 32頭（88.9%）	○	乳用繁殖雌牛の導入実績 32頭（88.9%）
肉用牛肥育農家の経営安定 【畜産課】	(1)肥育素牛導入支援 黒毛和種 420頭 交雑種 140頭 (2)肥育素牛導入資金貸付基金貸付頭数 46頭	①肥育素牛導入支援事業 ②肥育素牛導入資金貸付基金活用の推進	△ △	①肥育素牛の導入実績 黒毛和種 316頭（75.2%） 交雑種 0頭（0%） ②肥育素牛貸付頭数 40頭（87.0%）	○ ○	①肥育素牛の導入実績 黒毛和種 494頭（117.6%） 交雑種 150頭（107.1%） ②肥育素牛貸付頭数 66頭（143.4%）
森林整備の推進 【林務水産課】	(1)間伐目標面積 約580ha 森林づくり推進員活動 目標 37人 延べ666日	①地域ぐるみの間伐等による森林整備を推進	○	①8月推進員へ間伐推進の依頼文発送 9月北薩地域間伐推進連絡会議開催。 10月市の推進会議開催予定	○ ○	間伐実施面積 542.99ha 森づくり推進活動実績 37名 684日
	(2)基盤整備目標 作業路開設 1,500m 集材路開設 1,500m	①森林づくりのための基盤である作業路、集材路の開設	△	①実施個所協議中	○	基盤整備実績 作業路開設 1,520.6m 集材路開設 4,990.2m
林道等の整備促進 【林務水産課】	(1)市施工の林道整備 開設1路線	①地域森林計画に基づく林道整備	○	①10月発注予定	△	大平良線（里） W=4.0m L=543m
	(2)県施工の林道整備 開設1路線	①地域森林計画に基づく林道整備	○	①5月発注 9月末45%	△	横座線（城上・東郷） W=4.0m L=650m
	(3)県費単独補助治山事業1箇所	①治山事業の実施	△	①8月測量委託完了 10月発注予定	○	施行箇所（1ヶ所） 祁答院町黒木地内
特用林産の振興 【林務水産課】	(1)早掘りたけのこの産地拡大 竹林改良 3.0ha 竹粉碎机 1基	①竹林の整備、施肥 ②竹粉碎机購入支援	○	①9月計画書提出 竹林改良 2.73ha 竹粉碎机 1基	○	竹林改良 5.11ha 竹粉碎机 1基
	(2)基盤整備目標 竹林管理路 670m	①産地づくりのための生産基盤整備	○	①9月計画書提出 竹林管理路 670m	○	竹林管理路 670m

部 局 経 営 方 針

平成22年度

薩摩川内市

水産資源の再生 【林務水産課】	H21 年完了の資源調査に基づき藻場造成と種苗放流に取り組む ① 有用種を用いた藻場の造成 ② 引き続き種苗の放流	①ワカメ・ヒジキを用いた藻場の造成に取り組む。 また、アマモを用いてアオリイカ等の産卵場所を作る。 ②アワビ、トコブシ、マダイ、ヒラメの放流	○ △	①長浜集落でワカメを使った藻場造成を実施している。 ・平良集落、長浜集落、手打集落がホンダラ類の藻場ブロック設置する。 ②アワビの放流 特定離島ふるさとおこし推進事業で甑島地先に 8 万個放流する計画	○ ○ ○	ワカメを使った藻場造成を 25m×60m=1,500 m ² 実施した。 藻付きブロック 平良集落 200 個 長浜集落 50 個 手打集落 100 個 甑島地先にアワビ 8 万個を放流した。
魚食普及の促進 【林務水産課】	(1)【お魚まつり目標】 開催回数 年 1 回 (10 月) 来場者数 10,000 人	①川内市漁協、甑島漁協及び川内市内水面漁協で構成されるお魚まつり実行委員会への人的・資金的支援	○	10 月 31 日に実施した。 来場者数 10,000 人	○	10 月 31 日に実施した。 来場者数 10,000 人
	(2)【とれたて市目標】 開催回数 年 11 回 (毎月) 来場者数 年 8,000 人	① 川内市漁協及び甑島漁協で構成されるとれたて市への人的支援・資金的支援	○	今年は口蹄疫の関係で 5 月から 7 月まで中止したが、4 月、8 月、9 月は実施した。 来場者 4 月 800 人 8 月 400 人 9 月 900 人	○	4 月 800 人 8 月 400 人 9 月 600 人 11 月 600 人 12 月 500 人 12 月末 800 人 1 月 500 人 2 月 600 人 3 月 500 人
県単土地改良事業の推進 【耕地課】	(1)農業農村活性化推進施設整備事業・(樋脇地域)永田地区水路改修工事	①(樋脇地域)永田地区水路改修工事発注準備発注準備	○	①(樋脇地域)永田地区水路改修工事発注準備。 (12 月発注予定)	○	①(樋脇地域)永田地区水路改修工事完成
県営農業農村整備事業の推進 【耕地課】	(1)湛水防除事業(隈之城地区)他 3 地区 (2)農村災害対策整備事業池平ため池(楠元地区)他の調査計画事業	①湛水防除事業(隈之城地区)他 3 地区での事業実施 ②池平ため池(楠元地区)他の点検診断測量・事業計画策定業務の事業実施	○ ○	①第 2 機場の除塵機設備、水門設備の発注完了、施工中 ②池平ため池他、対象施設の点検・診断を実施。	○ ○	①第 2 機場の防塵機設備、水門設備の工事完成 ②池平ため池他、対象施設の点検・診断を実施済み

部 局 経 営 方 針

平成 2 2 年度

薩摩川内市

湛水防除施設の維持 管理適正化事業の実 施・湛水防除施設の 更新計画策定の実施 【耕地課】	(1)網津排水機場ポンプ分解点検外 (2)排水機場更新計画策定事業の 実施	①網津排水機場ポンプ分解点検 外の発注準備（申請事務等） ②整備後 20 年以上経過の 5 施設 について実施	○ ○	①設計業務完了, 発注準備 中 ②業務委託発注完了, 業務 実施中	○ ○	①網津排水機場ポンプ分 解整備（1・2号）完了 ②5施設の業務委託完了
農地・水・環境保 全向上活動支援事業 の実施 【耕地課】	(1)活動地区 30 地区 目標面積 1,593 ha	①活動地区 30 地区・面積 1,593 haで農地・水・環境保全事業を 実施	○	①活動地区 30 地区・面積 1,593 ha で農地・水・環境 保全事業を実施	○	①活動地区 30 地区・面積 1,593ha で農地・水・環境 保全事業を実施済み
農地流動化の推進 【農業委員会事務局】	(1)流動化面積 105 ha	①農地改革プランに添って, 農業 委員・流動化推進員及び農業公 社と連携した規模拡大農家へ の農地流動化の推進 ②農地流動化促進事業補助金を 活用	○	①②農地流動化補助金を活 用し, 現在 64.5ha の流動化 を達成。	○	①②農地流動化補助金を 活用し, 目標を上回る 134.2ha の農地流動化を 達成。
耕作放棄地の解消 【農業委員会事務局】	(1)農地パトロールの実施 492 回 (41 人×12 ケ月×1 回)	①農地パトロールによる解消と 農地の適正管理指導	○	①流動化推進員により, 認 定農家への農地の斡旋。	○	①農地パトロールによる 農地の適正管理指導によ り 34.4ha の解消 (農用地)
⑦年度中間総括	宮崎県において 4 月に発生した家畜伝染病「口蹄疫」対策に長期間要したため、一部会議等の中止・延期を余技なくされたが、各種事業はほぼ順調に実施されている。					
⑨年度末総括	本年度は、宮崎県において 4 月に発生した家畜伝染病「口蹄疫」と 1 2 月に同じく出水市で発生した「高病原性鳥インフルエンザ」の発生に伴い部全体で防疫対策に長期間要したが、会議等については書面決議等に変更して適切に実施された。 また、各種事業及び各目標も適正な事務事業執行に努めたが、川内・甕とれたて市の来場者数の減少はあったもののその他は、ほぼ期限内に達成完了された。					